

桐蔭学園 × 青葉区

防災講演会

能登半島地震から町の復興の道を描いたドキュメンタリー映画や監督によるパネルディスカッション等を通じて、自助・共助の大切さを考える講演会です。

2025.10/19(日) 10:30-14:00
(10:00開場)

青葉公会堂

横浜市青葉区市ヶ尾町31番地4
電車：東急田園都市線「市が尾駅」下車 徒歩10分
バス：「青葉区 総合庁舎」バス停 下車すぐ
※当日は、公共交通機関でお越しください。

参加申込：10月15日(水)まで
右の二次元コードからお申込みください。



※定員になり次第締め切らせていただきます。
※お申込みいただいたい方も、当日お席に空きがございましたらご参加いただけます。
※車いす席・手話通訳(映画は字幕対応なし)を希望される方は、10月2日(木)までにお申込みいただき、その旨を記載してください。

PROGRAM プログラム

ドキュメンタリー映画上映会

「廻し」が灯るところ～奥能登、珠洲の記憶～

パネルディスカッション

能登半島地震の記憶から、地域防災を考える

自助の対策

在宅避難などの備えについて

写真展

能登半島の記憶と軌跡

桐蔭能登プロジェクトコーナー 他

- ・能登ふるさと市
- ・桐蔭学園小学校 合唱団「HANABI」合唱動画上映
- ・桐蔭能登プロジェクト活動報告

など、盛りだくさん！

参加
無料

定員：500名
(小学生以上)



「廻し」が灯るところ

奥能登、珠洲の記憶



PROGRAM プログラム一覧

ホール 10:30-13:05

ドキュメンタリー映画上映会 10:35-12:05

仄が灯るころ ～奥能登、珠洲の記憶～ (87分)

令和5年、6年と二度の大地震に見舞われた奥能登珠洲市。瓦礫に残された暮らしの痕跡、人々の痛みや葛藤、そして互いに支え合いながら再び日常を築こうとする姿を、静かに描き出す。



ロビー(併設展示) 10:30-14:00

写真展 能登半島の記憶と軌跡

令和6年能登半島地震で自宅が被災。現在は復興の過程を写真で記録するプロジェクトに取り組む、珠洲市在住の写真家、松田 咲香さんの写真展。



パネルディスカッション 12:15-12:50

能登半島地震の記憶から、 地域防災を考える

能登半島地震のドキュメンタリー映画監督、珠洲市在住の写真家、災害ボランティアを行った大学生のそれぞれの視点から、私たちにできる地域防災について考える。

登壇者:

映像作家(「仄が灯るころ」監督)

有馬 尚史 氏

2011年に多摩美術大学に入学。同年より映像作品の制作を開始。23年5月に起きた地震からの珠洲の復興の様子を撮影するなか、元日の能登半島地震では自身も被災。計画を立て直したうえで撮影を重ね、『仄が灯るころ～奥能登、珠洲の記憶～』を作り上げた。

写真家(珠洲市在住)

松田 咲香 氏

能登の風景や祭り、人々の暮らしを撮影。地震で被災するも津波で浸水したハードディスクから約6割のデータが奇跡的に復元され、能登の魅力と記憶、被災後の珠洲を伝え続けている。

桐蔭能登プロジェクト(桐蔭横浜大学 法学部2年) 遠藤 眞希

ファシリテーター: 木村 知世子 氏

FMサルース「FDK presents ソナエルRadio」パーソナリティ、防災シスターズ3色丼

自助の対策 12:50-13:00

青葉区総務課

在宅避難などの備えについて

桐蔭能登プロジェクトコーナー 他 13:00-13:05

桐蔭学園小学校 合唱団 能登復興支援合唱曲

「HANABI」(作詞・作曲:弓削田 健介) 合唱動画上映

※歌詞は能登と長岡の子どもたちの言葉を弓削田健介氏が紡いだ。

ロビー(併設展示) 10:30-14:00

写真展 能登半島の記憶と軌跡

令和6年能登半島地震で自宅が被災。現在は復興の過程を写真で記録するプロジェクトに取り組む、珠洲市在住の写真家、松田 咲香さんの写真展。

桐蔭能登プロジェクトコーナー 他

桐蔭横浜大学 桐蔭能登プロジェクト 災害ボランティア活動報告

能登ふるさと市

奥能登珠洲市の特産品を多数出展!
お買い物で能登の復興支援へ。

桐蔭学園×青葉区
防災講演会への
お問い合わせ

横浜市コールセンター
月～金(祝日を除く)午前8時～午後9時
青葉区総務課(午前9時～午後5時) 045-978-2213

045-664-2525

桐蔭学園トランジションセンター
transition@toin.ac.jp